

農 務	・新学習指導要領や学科再編を見据え、準備室を立ち上げ、対応を加速し、特徴ある学科としていく。	・農業科職員の準備室の割当及びスケジュールを提示する。 ・科目の運用と施設の充実計画を作成する。					
	・農業教育におけるICT化の取組と地域と連携した活動を強化する。	・ネット環境の活用も含めたICTを活用した農業教材を充実する。 ・地域の特産物を活用した官・民・学の連携プロジェクトを展開する。					
人権・同和教育	・各学年のテーマに基づき、個別の人権課題を取り上げながら人権学習を進め、本校における人権・同和教育の推進を図る。	・毎月1回、人権・同和教育・生徒支援委員会を開催する。 ・身近の人権課題、同和問題、進路保障へと学びを進める。					
	・本人の責任ではない理由で修学が困難な生徒を支援するために、人権意識に基づいた学校全体での組織的な支援を行う。	・定期的にSCからの助言を受けながら生徒支援を実行する。 ・前期、後期の2回、生徒情報の共有を全職員で実施する。					
第1学年	・基本的な生活習慣の徹底を図る。	・毎朝のSHRや授業等において、挨拶・机上の整理整頓等の指導を根気強く行う。 ・生徒とのコミュニケーションだけでなく、保護者と密に連絡を取り合い信頼関係を築き、個に応じた指導を行う。					
	・学習意欲を喚起するために授業・HR活動を充実させる。	・各教科における学び直し、授業内容の復習を中心とした自学ノートでの家庭学習などにより、基礎学力を身に付けさせる。 ・専門教科を中心とした「知」のクスマッチなど、学習に対する興味を惹くことのできる活動を行う。					
第2学年	・挨拶、人の話を聞く態度を身につけさせる。	・学年集会等で挨拶や集合時に静かに待機できるように繰り返し指導する。 ・授業で正しい姿勢、うなずきや、応答ができるように指導する。					
	・学力と進路意識の向上を目指す。	・自学ノートを継続し、学習習慣の定着を図る。ゼロトレに就職問題を取り入れ、進路意識を高める。 ・個人面談、三者面談を活用し、進路について話し合う機会を設け、進路意識を高める。					
第3学年	・学校教育活動全般の指導の見直しを図り、進路意識の向上を図る。	・挨拶や授業、掃除への取り組みなどHRや学年集会等で根気強く指導することで学校生活全般に渡って意識を高めて取り組ませる。 ・朝トレやHR、総探の時間に取り組んだ内容を繰り返し行わせることで、基礎学力の向上を図る。					
	・希望進路の実現に向け、小論文・面接指導の充実を図る。	・小論文指導において、体育祭など様々な行事でも感想文を書かせるなど指導の充実を図る。 ・面接指導において、学年と学科が連携し、役割を分担することで面接指導の充実を図る。					
事務室	・適切な会計処理とコロナ対策の充実を図る。	・会計処理について法令遵守を徹底するとともに、節減を実施し、限られた予算の効率的な執行を行う。 ・教員と連携し、新型コロナウイルス感染症防止のための対策を適切に実施する。					
	・農場管理の充実及び発展を目指す。	・学校での生産物販売において、厳密な法令遵守の手続きを行う。 ・教員と連携し、予算の効率的な執行を行い、農場管理の充実を図る。					

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・

評価項目以外のものに関する意見

--